



平成 26 年 2 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社 大 運
代表者名 代表取締役社長 高橋 健一
(コード番号 9 3 6 3 東証第 2 部)
問合せ先 取締役管理本部長 吉野 弘一
(TEL. 06 - 6532 - 4101)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信[日本基準] (非連結)」の一部訂正について

平成 25 年 8 月 12 日に発表いたしました「平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信[日本基準 (非連結)]」の記載内容の一部に訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明の①港湾運送事業と②自動車運送事業のセグメント利益(営業利益)金額及びそれに伴う記載に誤りがあったため、一部数値及び記載を訂正するものです。なお、当社全体の利益に関しての訂正はありません。

2. 訂正箇所

訂正箇所には下線を付しております。

(訂正前)

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものでありました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、1,477,550千円で、前年同四半期累計期間と比べ、38,334千円(2.5%)の減収となり、全セグメントの95.2%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、91,116千円で、前年同四半期累計期間と比べ、13,816千円(17.9%)の増益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、堅実な業績改善を図ることができました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、71,897千円で、前年同四半期累計期間と比べ、9,837千円(15.8%)の増収となり、全セグメントの4.6%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、25,571千円で、前年同四半期累計期間と比べ、28,228千円(前年同四半期累

計期間は△2,657千円)の増益となりました。

(訂正後)

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものでありました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、1,477,550千円で、前年同四半期累計期間と比べ、38,334千円(2.5%)の減収となり、全セグメントの95.2%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、124,752千円で、前年同四半期累計期間と比べ、47,452千円(61.4%)の増益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、営業収入は堅調に推移したものの、採算面で厳しさが増しました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、71,897千円で、前年同四半期累計期間と比べ、9,837千円(15.8%)の増収となり、全セグメントの4.6%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は、8,064千円で、前年同四半期累計期間と比べ、5,407千円(前年同四半期累計期間は△2,657千円)の減益となりました。

以 上